

令和2年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

都市環境整備課

1 施設の概要等

施設名	広島県立みよし公園		
所在地	三次市四拾貫町神田谷		
設置目的	備北地域住民の文化及びスポーツと多様なレクリエーション活動の振興		
施設・設備	カルチャーセンター（アリーナ）、温水プール、パークゴルフ場、テニスコート、文化の広場、こども広場、しょうぶ園など		
指定管理者	4期目	H28. 4. 1～R3. 3. 31	ミズノグループ・星光ビル管理共同企業体
	3期目	H23. 4. 1～H28. 3. 31	ミズノグループ共同企業体
	2期目	H20. 4. 1～H23. 3. 31	ミズノグループ
	1期目	H17. 4. 1～H20. 3. 31	(株)サンアメニティ

2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
	4期	R2	707,000人	446,598人	△180,853人
R1		706,000人	627,451人	△71,565人	△78,549人(88.9%)
H30		705,000人	699,016人	△8,412人	△5,984人(99.2%)
H29		704,000人	707,428人	△1,847人	3,428人(100.5%)
H28		704,000人	709,275人	27,053人	5,275人(100.7%)
	3期平均H23～H27	706,000人	682,222人	20,786人	△23,778人(96.6%)
	2期平均H20～H22	700,000人	661,436人	△4,865人	△38,564人(94.5%)
	1期平均H17～H19	762,530人	666,301人	3,368人	△96,229人(87.4%)
	H16 (導入前)	—	662,933人	—	—
増減理由	○新型コロナウイルス感染症の流行による施設利用中止及び利用者の自粛などによる減				

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	アンケートボックス設置（常時）	施設利用者 12人
	【主な意見】	【その対応状況】
	トイレにウォシュレット等を設置してほしい	今後の検討事項とする
	インターネットの環境を良くしてほしい（Free-Wi-Fiの設置）	今後の検討事項とする

4 県の業務点検等の状況

項目	実績	備考
報告書	年度	○ 事業報告書
	月報	○ 月次業務報告書
	日報（必要随時）	○ 事故等報告書
管理運営会議（随時）	【特記事項等】 各施設（建物）、設備の老朽化対策が課題 【指定管理者の意見】 利用者の安全確保と施設等の機能維持の観点から、維持修繕を優先順位に従い、計画的に実施する必要がある	
現地調査（6月、11月に実施）	【県の対応】 維持修繕にあたっては、事前に県と十分協議し、連携しながら実施するよう指定管理者に指導した	

5 県委託料の状況

(単位：千円)

	年度		金額	対前年度増減		年度		金額	対前年度増減
	県委託料 (決算額)	4期	R2	117,706		10,539	料金 収入 (決算額)	4期	R2
R1			107,167	935	R1	19,820			△4,992
H30			106,232	0	H30	24,812			△937
H29			106,232	△168	H29	25,749			806
H28			106,400	609	H28	24,943			157
3期平均H23～H27		105,791	3,791	3期平均H23～H27	24,786	1,717			
2期平均H20～H22		102,000	△11,597	2期平均H20～H22	23,069	△2,754			
1期平均H17～H19		113,597	△18,197	1期平均H17～H19	25,823	813			
H16 (導入前)		131,794	—	H16 (導入前)	25,010	—			

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項目		R2決算額	R1決算額	前年度差	主な増減理由等	
委託事業	収入	県委託料	117,706	107,167	10,539	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う県からの利用制限による料金収入減収分に対する委託料の増
		料金収入(※1)	15,163	19,820	△4,657	コロナによる施設の利用休止及び利用控えの影響
		その他収入	2,727	9,077	△6,350	コロナによる飲食事業の収入減
		計(A)	135,596	136,064	△468	
	支出	人件費	55,301	50,446	4,855	人件費見直しによる増
		光熱水費	26,385	27,214	△829	コロナによる利用減のため
		設備等保守点検費	12,168	11,909	259	令和元年度は遊具の改修により点検費用が抑えられていたため
		清掃・警備費等	14,760	14,760	0	
		植栽管理	12,634	12,144	490	植栽管理の回数を増やしたため
施設維持修繕費		826	629	197	老朽箇所対応による修繕の増加	
事務局費		4,594	3,212	1,382	コロナ対策に係る消耗品の購入	
その他		17,514	23,733	△6,219	飲食事業の見直しによる減	
計(B)	144,182	144,047	135			
収支①(A-B)		△8,586	△7,983	△603		
自主事業 (※2)	収入(C)	4,293	7,364	△3,071	コロナによる施設の利用休止及びイベントの中止	
	支出(D)	2,683	5,644	△2,961		
	収支②(C-D)	1,610	1,720	△110		
合計収支(①+②)		△6,976	△6,263	△713		

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画, 主な取組, 新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	各競技団体と連携して卓球, ミニバスケットボール大会, グラウンドゴルフ大会等の大会を開催した。	各種スポーツ教室, カルチャー講座等により文化及びスポーツと多様なレクリエーション活動の振興を図った。
	○業務の実施による, 県民サービスの向上	新型コロナウイルス感染症対策として, 施設の消毒や換気等の徹底, パーテーションや体温計の設置等を行った。	県の対処方針等に沿った新型コロナウイルス感染症対策を実施することで, 利用者への感染拡大の防止を図った。
	○業務の実施による, 施設の利用促進	平成30年から実施している「みよし青空マルシェ」を「はなのわ※」関連イベントとして継続して実施するとともに, 樹木講座やプランターづくり体験会等を開催し, 来園者から好評を得た。	地域に根差したイベントである「みよし青空マルシェ」をはじめとした「はなのわ」関連イベント等を企画・実施し, 公園の利用促進を図った。
	○施設の維持管理	要望の多いトイレの洋式化への改修工事を実施し, 今回の工事にて園内の各屋外トイレの洋式化が整った。	利用者の要望や日々の定期点検の結果を施設の維持管理に反映させ, 利用者の安全性や満足度を高めた。
管理の人的物的基礎	○組織体制の見直し	顧客満足度向上への取組や普通救命講習, 修繕業者と連携した防災訓練等を実施し, スタッフの能力向上を図った。	外部の専門講師による研修や社内研修を通して, スタッフの運営管理能力向上を図り適切な業務体制を維持した。
	○効率的な業務運営	共同企業体各社のノウハウや専門的技術を活用し業務の合理化に努めた。	スポーツ, 建物管理について共同企業体の強みを活かして運営した。
	○収支の適正	新型コロナウイルス感染症による施設閉館や大会利用のキャンセル等もあり, 来園者数及び収支に甚大な影響があった。	新型コロナウイルス感染症による収入減はあったが, サービスレベルを維持しながら適切に経営を行った。
総括		利用者の安全を最優先に新型コロナウイルス感染症対策を実施した。また, 「はなのわ」協賛会場として新たな公園の魅力を創出する事が出来た。	新型コロナウイルス感染症対策を徹底しつつ, 「はなのわ」の協賛会場としての取組実施や新たな利用者確保に努めるなど, 適切に管理運営を行った。

※「はなのわ」: 第37回全国都市緑化ひろしまフェア

8 今後の方向性 (課題と対応)

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (令和3年度)	<p>○新型コロナウイルス感染症拡大防止をはじめとした, 利用者の安全確保を最優先とした施設の維持管理を実施する。</p> <p>○新たなイベントや講座等の企画・開催や施設の有効活用, 広報の充実により, 利用促進を図る。</p>	<p>○施設全体の老朽化による不具合について利用者の安全確保を最優先に, 指定管理者と連携しながら対応する。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を適切に講じる。</p>
中期的な対応	効率的な維持管理に努めるとともに, 計画的な修繕の提案等を継続して行う。	長寿命化計画や長期修繕計画に基づき適切に施設の修繕等を実施する。